

うみぐみ（5歳児）の1年間の生活

「水はどこから生まれてどこへいくの？」－水のめぐりを知る－

活動を行う団体

けやの森学園 keyanomori.com/olds/project/index22.html
（社団法人すこやか村と連携して実施）

活動の概要

けやの森学園の近くには入間川があり、東京湾まで流れている。

当園では、かつてNPO けやの森自然塾で行った「入間川、荒川アドベンチャーカヌーツアー」の経験を活かして、5歳児を対象に、「水はどこから生まれてどこへ行くのだろうか」という子どもの身近な生活の疑問から、水のめぐりを究明するという1年間の生活の流れをつくっている。

【1年間の流れ】

- 5月 入間川上流で川あそび。サツマイモの植付け（この年は雨が少なく苗が枯れてしまったことから水に強い関心があった）
- 6月 入間川中流でのカヌー体験
- 7月 磯あそび（川が海につながっていることを確認し、海の生き物と出会う）
- 8月 ひとり立ちキャンプ（2泊3日）で 入間川源流探しとカヌー川下り
- 10月 秋のプレイデー（親子参加型運動会）で 水について学んだことを身体で表
- 12月 生活作品展で 水について学んだことを絵画や造形で表現
- 1月 スノーキャンプ（2泊3日）でスキーやイグルー泊を体験しながら「どうして雪が降るのか」、「なぜ雪は白いのか」などについて学ぶ
- 3月 ひなまつり会で「水のめぐり」について学んだことを舞台上で研究発表



優良事例のポイント

幼児期から、水をテーマに、循環や自然との共生について学ぶ体験型の環境教育を実施している。また、子どもがなぜと思ったことを率直に意見交換できる場（子どもなんでも会議）をつくるなどし、子どもたちが主体的に学ぶ姿勢を身につけられるようにしている。